シニアネット久留米広報 Vol.44 2013.10.1

本紙の秋

お知らせ

- 1 「久留米ん町探検隊」は参加者募集中 日程 10 月 5 日:北野のコスモス街道を歩く
- 2・農園事業は「農縁倶楽部」と新たに名前を変え ⇒荒木農園の移転に伴い、新規に耕作地を準備、 会費 2000 円…会員募集中。
 - 一人当たりの農地面積は45㎡(約13坪余)
- 3 「久留米市教育ボランテイア」は7年目の秋、 京町小学校の算数授業支援を行っています。
- 4・「流し灯篭」は地域保存会との協働、現在では運営 そのものの柱・支援を継続しています。 左写真:2013年8月

SNK の仲間も出品しました



西部水彩展



国部が展と2回 ンバスに 春の入賞 筑後地方 が楽しみ URL 写真1・ co

(あとがき)地震、津波、竜巻、大きな自然災害を経験した日本列島。秋となり筑後平野は雲ひとつない青空が続く。残暑は未だ厳しく、雨のない日が続けば農地はからからに乾いて鍬の刃が立たないほど硬い畑地となる。温順な季節が待たれる日々。(弐)

「西部水彩展」会場:石橋美術館は春の公募展、秋の会員 展と2回行われ、特に秋の会員展は会員・会友の大型カンバスに描かれた絵は見るのに迫力があります。加えて 春の入賞者による新作品を加えた美術展となっていて、 筑後地方は美術界の中心であるよう思いました。美術展 が楽しみとなり、HPを作成しました、ご覧ください。

URL http://hosi15.web.fc2.com/suisaiten/a.html

(事務局 .橋口哲男)

- 写真1・「筑後川」西部水彩画協会員: 井手元子さん
 - co 永遠に流れるちくご川を、鳥になった気分で空から眺め (俯瞰図)、発展していく久留米市の文化や街並み を横から眺めて構成した絵地図を楽しんで頂けたら 嬉しいです。
 - 2・「よーい・どん」入賞者:大平康子さん
 - 3・「狩り」入賞者:一ノ瀬尚文さん
 - co 古代エジプト、マスタバ古墳群から発見された壁画、 時代ははるかに紀元前 2000 年の大昔となります。 壁画を描いた時代の狩りは現代の狩にも通じます。

NPO 法人 シニアネット久留米・広報 Vol. 44 2013. 10. 1

http://www.snk.or.jp/



編集・発行 NPO シニアネット久留米 理事長 小島紀夫 久留米市荘島町 13-1 TEL 0942-46-2277

元気もん、で生きること

1

若いころに見た映画で、1968 年公開、スタンリーキューブリックの「2001 年宇宙の旅」がある。当時、SF 映画としても話題となり、人間社会の未来を予言しているシリアスな映画だった。世界は科学技術の進歩でどんどん変わり、数十年先ともなれば宇宙はもっと身近なものとなる、と考えられた。だが、この映画の趣旨は別のところにあって、巨大電算機(コンピューター)に支配されていく人間社会の不安な未来を描いていた。

2001 年を迎えるその前年の 2000 年はミレニアムと呼ばれ、普及著しいパソコン社会では 99 から 00 への転換が動揺を与え、パソコンで作り上げたデーターは自動的に改竄される、という噂が流れ不安に思う出来事もあった。だが、それから 2013 年となる今日まで、ウインドウズの度重なるリニューアルが続いただけだった。

2

パソコンを上手に使うシニアとなり、仕事に追われていた若い時代を振り返ると、若いから見ていた夢もあった。その若さがもっている世界では、他人の老いは見えてもいずれ定年を迎える自分の老いは想像できなかった。若いから見る広すぎる世界は「歳を重ねて老人となった自分の姿」を受け入れない(完全に欠落)自己中心的な能力があるようだ。

若い頃から老人となった自分を創造的に見ていた偉い人もいる。それは「イメージした世界を 壊さないで生きる方法」とでも呼べるだろう。冷静になれば見えてくる自分の老後を、計画的に 生きていくのだから、その生きざまは面白かったり時には苦々しく思うこともあるだろう。

そんな生き方をする人は、どこかおしゃれっぽくユーモアをたっぷり効かせ、そして首が回らないほどの仕事や男女の悩みを抱え、日常を小説の中のように生きるだろう、とも思えてくる。 老後が見えても魔法が使えるわけではないから、若い時の言動は大人びて妙に爺むさい、それは心理的な要素が支配的だから、と思っている。

活発に生きる、そんな人がいる。SNKの創立に関わり第1期理事長を務めた島井新一郎さんだ。 組織の設立には過剰なエネルギーを必要とする。組織は産みの苦しみを経験した。NPO収得、人 の集まりだからいろいろ、時代はどんどん新しいページを加えて、今日までSNKを育ててきた。

8月15日、国民的行事であるお盆の灯篭流し(久留米市瀬の下)は、SNKによるボランティア活動応援により、遅滞なく運営された。食材を詰めた供物や精霊舟流しを放任していては、筑後川の環境は汚れていくばかりだ。旧来から宗教行事と公認されており、浄化の対策も必要だが地域の有志によるボランティア頼みとなる。採算に合わない、事業化できない事業、誰かがやらねばと考え、地域地縁を抱き込む強い力がいる。

SNK のシニアの力は、若者不在の地域を一つにまとめ大きな成果を上げた。美しい筑後川を孫の世代へ残す、その志を持ち意気に感じる同士は集まった。

その力をこの元気もん(島井さん)は持っている。そこには気持ちを共有できるシニアの仲間 たちがいる。筑後川の環境を守る、ひとりひとりでは微力な人たちが集まった。そこには爽快な 達成感があった。 (編集長 一ノ瀬尚文)

青春とは「我が信念」を生きることである。

シリーズ

経歴紹介

SNK: 1998年会設立の発起人 理事長歴:設立時 2000 年 灯篭流し、農縁倶楽部リーダー

特技:1・在宅ホスピスボランティア

2・久留米大学他、回遊先多し

願わくば山郷に住む知恵の精、澄み湧き出でる仙峡の精。 SNK同朋への想いは強く、ネットで豊に遊ばんとする。 シニアに大切なことは「人生を楽しむ哲学を持つこと」 と喝破した。清濁を合せ呑み、我ら青春を現在も生きる。

好奇心旺盛なシニアは努力する、諦めない。老練を生き

たとはいえ、熱い想いは脳葉に溢れんとして未だ止まず。

SNK 草創期の思い出

SNKのスタートは1997.09ですが、当初はエースー研(古 賀直樹さんが社長)の事務所の一室を借りて活動開始し ました。

> 広報第20号:10年史、 第21号:九州シニアネットサミット

実際の活動は1998年4月の発会式から始まったわけで すが、98・99・2000年の行事など、現在もあります。 (1)三輪町の柿畑の開墾畑つくり

1999.01。現在の農園事業のはじまり。

- (2) 広報出版委員会 須佐さんが委員長で、シニアネット久 留米ニュース 1998.12.第 1 号発行。途中一時中断し たが現在の SNK 広報誌のスタート。
- (3) パソコン教室委員会 エースー研の事務局の一室で 渡辺さん(故人)を講師に開始。 もちろん現在のパソコ ン教室のさきがけ。
- (4) ホームページ委員会 樹木医の野口さん(故人)が担当 し SNK のホームページ作成。新聞にも掲載された。 1998.04
- (5) 津福サロン建設。1999.09。
- (6) SNF (シニアネット福岡) 創設のお手伝いと合同 OFF
- (7) 旅行・バス旅行・小旅行を積極的にやりました。1998.06 見返りの滝へのバス旅行。1999.05沖縄旅行、これには 第一回南極観測隊のメンバーで取り残されて一年南極 でがんばった樺太タロウ・ジロウの飼育係りだったカナ ダ在住の菊池さん(もちろん SNK メンバー)も同行。 1999.06 どんぐり村。
- (8) 2000.05 久住キャンプ(シニアネット福岡・シニアネッ ト北九州との合同)に50-60名参加。
- (9) 1998.03 インターネットフェスタ第一回。久留米・鳥 栖地区のインターネット関連企業や団体が参加して毎 年盛大に実施されていて、SNK は常連のメンバーでし た。
- (10)1999.03 ふれあいパソコン教室 in 久留米大学。 その後も諏訪中学・明星中学で子供たちを対象に、ある いは夏休みに先生たちを対象にパソコン教師として招か れ講義しました。
- (11))津福サロンで収穫祭 1999.10 三輪農園で取れたサツマ イモ・サトイモを使って津福サロンで観月会・収穫祭を 実施。これは現在のうまかもんば食う会の第一回に相当。
- (12)ゴルフ会 1999.11 第一回のゴルフ会を長門石ゴルフ 場で実施。女性3名の参加もありました。
- (13))新規会員歓迎おオフ会。現在春と秋に実施している新 入会員歓迎交流会の第一回を 1998.11 に創世で実施。以上

人は家・家族・地域・人間社会に生きる。 社会の…複雑な仕組みを排して単純化 してみれば、自分にできることは自分で やろう、社会の仕組みを活用出来るとこ ろはそこへ働きかけて善処しよう。 人はいずれ死ぬ、シニアの悟りである。 その諦念には深い人間愛がある。彼の真 骨頂は NPO 結の会にみることができる。

NPO 法人結の会



〒 830-0048 久留米市梅満町 4-1 在宅療養サポートセンター久留米内 TEL 080-3374-3143 FAX 0942-65-9330 メール yuinokai-R2008@softbank.ne.jp

URL http://30.pro.tok2.com/~npokurumeyui/01yui/index.htm (2013年養成講座案内)

『私たちは、末期がんなどで治癒不可能な状態にある患者さん及びそのご家族 の QOL(人生・生活の満足度)の向上のために、さまざまな医療・介護専門家が 協力して行う在宅でのケアを、無償ボランティアの立場で補佐・支援すること を目的として活動します。』

これらのレポート(写真など)は SNK のホームページの「SNK 設立の記録」から 「シニアネット久留米の記念行事、他」へ進みその中の「シニアネット久留米設 立からの記録」の「島井さんのホームページ」をクリックして見る事が出来ます。

URL http://9.pro.tok2.com/~snk/simai/20100901snkseiri/000.htm

灯篭流し

SNK では毎年 8/15 に筑後川で行われている灯篭流しの 行事にボランティアで応援参加しています。この行事 は、30年ほど前、玉置さん(故人)という方が奇跡的に 南方の戦線から生還され、戦死した戦友を弔いたいとの 思いで瀬の下の町内の皆さんに呼びかけて始められた ものと聞いています。

ところが、10年ほど前から玉置さんはじめ協力者の皆 さんが高齢化し、行事の継続が難しくなり SNK に協力を 依頼されて来たのが私たちが関わり始めたきっかけで した。この行事は、日本の昔からの先祖を敬うという伝 統的な行事であり継続してゆきたいものと考え協力し ているわけです。

結構大変な労働を伴いますが、私たちが手伝いしなくな れば秩序なくお供え物を川に流すような事態も予想さ れ、そうなると筑後川の汚染がますますひどくなる恐れ もあることから、今後も関わって行きたいと考えていま

今年も30名ほどの皆さんが8/15の早朝からのテント 張りや照明取り付けなどの会場つくり、夕方は灯篭の組 み立て・販売応援などに参加しました。さらに翌16日 早朝からは川岸に流れ着いた灯篭の回収作業に10名ほ どの皆さんが活動しました。

SNK も高齢化し協力者が少なくなる傾向にありますが、 SNK の目的には社会奉仕活動もメインに掲げています ので今後も活動継続したいと考えています。



収穫祭で芋ほりに夢中となる参加者の子どもたち(旧荒木農園)

SNKの農園事業部としてやっているメンバーの集ま りを「農縁倶楽部」とネーミングしました。

- · 責任者 · 事務局 窓口業務は島井新一郎 事務的なことは日野眞郷(赤信号)
- ・メンバーは年会費 2000 円を納入
- ・倶楽部の目的は野菜を作ることではありますが、 メンバーが集まってワイワイがやがや楽しむこ とも重要な目的、作業日を決めて集まります。
- *農園:高塚農園、荒木農園、藤田農園
- *農産物の販売も複数設けます。

上津荒木の上村座(かんむらざ)でも販売予定。

*秋の収穫祭を計画します。



Grain, Food, Petlife Div お客様の「価値」を創る商店へ

『価値創造商店』

本店 佐賀県鳥栖市藤木町若桜 9-7 Tel0942-85-1125 Fax 82-9780